

延岡市ゼロカーボンシティ宣言

近年、二酸化炭素などの温室効果ガスによる地球温暖化が原因とみられる異常気象によって、大規模な災害が日本国内や世界各地で発生し、私たちの生活にも甚大な影響を及ぼしています。

2015年に合意されたパリ協定では「産業革命以前からの平均気温上昇の幅を2℃未満の1.5℃に抑えるように努力する」との目標が国際的に広く共有され、我が国では2020年10月、2050年までに温室効果ガス排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言しました。

延岡市は、ユネスコエコパークに登録され国際的に高い評価を受けている山々、そこから流れる9年連続水質日本一の五ヶ瀬川、水質日本一の川が海に注ぐことで育まれてきた全国有数の漁獲高を誇る海の恵みや水質九州一の海水浴場があるなど、全国屈指の豊かな自然に恵まれています。

そして、これまで災害や困難を市民が力を合わせて乗り越えてきた「市民力のまち」でもあります。

私たちは今こそ市民力を結集し、この素晴らしい自然の恵みを将来にわたって守り、引き継いでいかなければなりません。

さらに、世界最先端の科学技術が集積するまちとして、英知を結集し、地球温暖化という地球規模の課題を解決していかなければなりません。

そのためには、スマートシティとしてデジタル技術を一層活用し、省エネルギーやペーパーレス化などを進めることはもとより、マイカー依存度を下げることや、太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進することで、可能な限り温室効果ガスを削減するとともに、二酸化炭素を吸収する森林の整備を推進することなどにより、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、「ゼロカーボンシティのべおか」を実現していくことが必要です。

恵まれた日照時間や森林資源を最大限に活用しながら、市民・事業者・行政が力を合わせて、「ゼロカーボンシティのべおか」を実現していくことを決意し、本日ここに「延岡市ゼロカーボンシティ宣言」を行います。

令和4年8月20日

延岡市長 読谷山 洋司